

2021年9月15日

## 輸送動向について（2021年8月分）

### 1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷に加えて、大雨に伴う山陽線等の不通の影響を大きく受け、紙・パルプを除く全ての品目で前年を下回った。不通となった山陽線について、トラック・船舶による代行輸送を実施した。

これらの影響により、食料工業品は、九州・広島地区発着の清涼飲料水や菓子類を中心に減送となったほか、九州・中国地区に生産拠点を持つ自動車部品は世界的な半導体不足も影響し前年を大きく下回った。農産品・青果物は、北海道地区の干ばつに伴う野菜類の作柄不良も影響し低調に推移した。エコ関連物資は、建設発生土の輸送が7月半ばに終了したため前年を下回った。コンテナ全体では、前年比83.1%となった。

車扱は、全ての品目で前年を下回った。石油については、豪雨の影響で中央西線が不通になったものの、関東地区から長野地区向けに臨時列車による輸送を行ったほか、東海地区から東海道線経由で長野地区への迂回輸送を行った。結果、前年比95.0%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比86.8%となった。

### 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,141	1,372	83.1%	7,408	7,302	101.5%
車 扱	592	622	95.0%	2,845	2,829	100.6%
合 計	1,732	1,995	86.8%	10,253	10,131	101.2%

### 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	91	124	-33	73.6%
	化学工業品	95	116	-21	81.9%
	化学薬品	76	84	-8	90.5%
	食料工業品	178	222	-44	80.5%
	紙・パルプ	153	153	0	100.5%
	他工業品	82	100	-18	81.9%
	積合せ貨物	188	206	-18	91.3%
	自動車部品	32	54	-22	60.1%
	家電・情報機器	18	23	-5	75.8%
	エコ関連物資	31	55	-24	56.6%
	その他	196	237	-41	82.9%
コンテナ計	1,141	1,372	-232	83.1%	
車 扱	石油	386	390	-4	99.0%
	セメント・石灰石	115	135	-20	84.6%
	車 両	60	62	-2	96.5%
	その他	31	35	-4	88.2%
	車 扱 計	592	622	-30	95.0%
合 計		1,732	1,995	-263	86.8%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)